

2025年5月29日

各位

日本特殊陶業株式会社

日本特殊陶業 IoT スマートゴミ箱「SmaGO」(スマゴ) への支援を継続

Niterra グループ 日本特殊陶業株式会社(社長:川合 尊、本社:名古屋市東区)は、2023年4月から支援している株式会社フォーステック(社長:竹村 陽平、本社:東京都千代田区)が設置、提供しているIoT スマートゴミ箱「SmaGO」(スマゴ)、に対して、本年度も支援を継続することとなりましたので、お知らせいたします。



写真左から 株式会社ヘラルボニー 代表取締役 Co-CEO 松田崇弥様、当社執行役員 北河広視、当社サステナビリティ戦略室長 久禮圭祐、株式会社フォーステック 代表取締役社長竹村陽平様

■支援継続の背景

当社は2022年7月より本社に隣接する名古屋市久屋大通公園*にて、本社の周辺地域への環境貢献を実現したいという思いから「SmaGO」運用への支援を行っております。2023年4月からは株式会社フォーステックとコラボレーションパートナーである株式会社ヘラルボニー(代表取締役 Co-CEO:松田 崇弥、松田 文登、本社:岩手県盛岡市、以下ヘラルボニー)が連携し実施している東京・表参道における「スマートアクションプロジェクト」によるチャレンジにも共感し、支援を開始しました。本年度も本活動を通じてより一層持続可能な社会づくりへの貢献を進めてまいります。

*:久屋大通公園の「SmaGO」支援は昨年12月末をもって終了しております。

■設置写真

表参道（東京都）



■「SmaGO」について

「SmaGO」は、ソーラー発電で作動するため電源が不要なIoTスマートゴミ箱です。ゴミが溜まると自動的に約1/5まで圧縮する機能を持ち、最大で約600ℓのゴミを収容することができ、ゴミが溢れず回収回数の削減が可能です。また、通信機能を通じてゴミの蓄積状況をリアルタイムにクラウド上で管理・分析できるため、効率的なゴミ回収が可能になり、回収コストや、回収作業に伴うCO₂排出量の削減が期待されます。

■「スマートアクションプロジェクト」について

「スマートアクションプロジェクト」は、ゴミを正しく捨てることから始まる、循環型社会への新しいチャレンジです。昨年より、表参道に設置中のSmaGO 34台を活用しCO₂削減や、ゴミを分別し正しく捨てて美しい環境を整備していくことに加え、ヘラルボニーが契約する異彩を放つ作家の彩り豊かなアートが目を引き、街を輝かせることにも繋がっています。

■アート作品について



「ドロップス」輪島楓 金沢アート工房（石川県）



「花束」竹内聖太郎 多夢多夢舎中山工房（宮城県）

■ヘラルボニーと「SmaGO」との関わりについて

当社がゴールドスポンサーとして協賛する「名古屋ウィメンズマラソン 2025」の完走賞として、初めてヘラルボニーとのコラボレーションとなり、アート作品「おしゃべりなバラ」(作家・三谷由美氏)をあしらったフードポットを提供しました。

また、同イベントにて当社ブースなどを SNS にて投稿していただいた方を対象にお配りしたポーチにもアート作品「トリケラパークの地図」(作家・内山.K氏)を起用しております。さらにそのポーチは「SmaGO」から回収したペットボトルを原料化し、再生 PET 素材としてポーチの一部に使用されております。

いずれの商品もご利用者様からそのデザイン性に好評をいただいております。作家や創作表現の可能性を伺えるものとなっております。



フードポット



ポーチ

- 当社のサステナビリティに関する取り組み <https://ngkntk.disclosure.site/ja>
- ESGに関する社外からの評価 <https://ngkntk.disclosure.site/ja/themes/190/>

以上